

見る聞く 岡山の ケータイ産業

5

携帯電話を、七月から小学三年生の息子に持たせている。「これからどんどん行動範囲が広がる年齢になるから心強い」ソフト開発のエフ・システムが開発した「安心さんまい」。保護者が携帯電話で同社のホームページにアクセスし、必要事項を入力すれば、子どもの現在位置を画面の地

エフ・システム

(岡山市富田町)

日本マーケティングシステム

(岡山市大内田)

玉野市の女性会社員 図上に表示してくれる。これは、子どもを残して仕事に出た時の心配が、定した場合、外に出ると自動的にメールが届き居る。GPS(衛星利用測位システム)を利用し、ど

こにいるか確認できる携費は別)。福池幹夫社長

GPSで子の位置確認



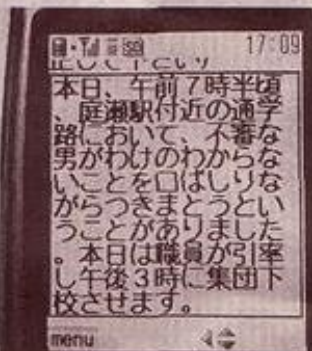
不審者情報一斉メール

は「子どもから連絡できず、幼稚園と小、中、高校生は「子どもから連絡できず、幼稚園と小、中、高校生ない状況でもメールが届くが登下校中に不審者と遭く機能が売り」と話す。福池社長の本業は、建設会社社長。公共事業の減少などで厳しいため、エフ・システムを昨秋設立し、成長が見込める通信分野に参入した。

全国で子どもを狙った犯罪が多発。岡山県教委によると、県内の公立幼

携帯電話で子どもの居場所を確認できるエフ・システムの「安心さんまい」(写真)

不審者情報を一斉連絡する日本マーケティングシステムの連絡くん(写真)



個人情報はセキュリティ提供会社は全国的に増えているため、漏えいの恐れは小さいという。佐竹茂社長は「個人情報に気をつける保護者が増え、電話連絡約二十万件のヒット商品に網が作れない学校も多い」と話す。昨夏からシステムを利用している吉備小(岡山市)は、保護者の約八割が登録。不審者情報十五件の

ほか、台風による臨時休校などの連絡に使った。「不審者情報は児童に印刷物を持ち帰らせ通知していたが、メールで速報性が増した」と同小の大塚義典教頭。

位置確認、一斉メールとも、サービス